

## 「探究型学習」の学び方を考える(1)

開倫塾

塾長 林明夫

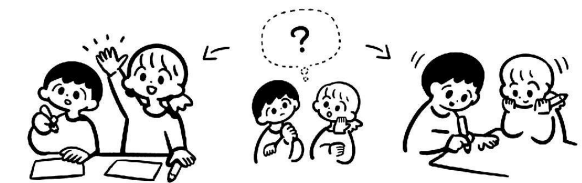
Q 1 : 「探究型学習」とは何ですか。

A : (1) 社会の問題は何か、その原因は何か、ではどうしたらよいかを、自分の力、自分たちの力で考え、行動する学習です。

(2) 小学校、中学校、高校だけでなく、大学、大学院でも行われています。

(3) 各学校の各学年で学んでいることを参考にして、自分で、自分たちで、問題を発見し、原因を追究、どうしたらよいかを考え行動するのが、探究型学習です。

○大学などでは、「アクティブ・ラーニング」とも言うようです。



Q 2 : ではどのようにして、問題を探したらよいのですか。

A : (1) 自分の住む街、区や市町、都や県、日本の問題、世界の問題、人類・地球・宇宙の問題の中で、特に気がかりなことは何か。

(2) 参考になるのは、SDGs の 17 の課題です。17 の課題とは何かを学び、その中で、関心のある項目について、自分の住んでいる区、市や町、都や県、日本では、世界では、どのようになっているか、その原因は何かを自分で調べる。同じことに興味・関心を持ったら、みんなで調べる。

(3) グループを作り調べることをお勧めします。



Q 3 : では、どのように調べたらよいとお考えですか。

A : (1) まずは、今まで小学校、中学校、高校で学んだこと、これから学ぶことの中で、その問題がどのように取り扱われているか、全教科の学校の教科書を見て調べる。

(2) 例えば、高校 2 年生の探究型学習で、自分たちのテーマが決まったら、中学校や高校の今まで学んだ、全教科のすべての教科書を見直してみる。これから学ぶ、高校 3 年生のすべての教科の教科書で、どのように扱われているかを調べ、書き出してみる。教科書がなければ、学習参考書で調べてみる。

(3) 講談社の「ブルーバックス」や、岩波書店の「岩波新書」「岩波ジュニア新書」などで、調べてみることをお勧めします。



Q 4 : そのような参考書や新書の本は、どこにあるのですか。

A : 小学校、中学校、高校の、「学校図書館」にあります。自分の住む街の「公共図書館」にあります。小学生も、中学生も、高校生も、「探究型学習」は、「学校図書館」「公共図書館」を中心に行うことをお勧めします。

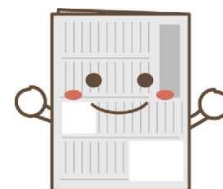


Q 5 : えっ、図書館ですか。

A : (1) その通りです。図書館には、「新聞」もあります。地域や日本、世界の問題が満載されているのが新聞です。

(2) 「新聞を、毎日、30分以上読むこと」は、「探究型学習」に欠かせません。

(3) 「新聞なくして、探究型学習なし」です。できれば、「自宅で新聞を購読し、気になる記事は、はさみで切り抜き、スクラップブック（ノート）に糊で貼り付け、自分の意見を、ノートに書き込んでおくこと」をお勧めします。



Q 6 : 図書館のほかに、ありますか。

A : (1) 自分たちが選んだテーマが実際にどうなっているか、学校から外に出て調べることで。ただし、危険な場所や、あまり離れた場所には行かないこと。保護者や学校の先生によく相談し、必ず、許可を頂いてください。

(2) 一番いいのは、そのことをよく知っている人がいる場所を訪ねて、お話をお聞きすることです。

①新聞社に新聞記者を訪ね、どうなっているかをお聞きする。

②区役所、市役所、町役場、都庁、県庁、国の出先機関などを訪ね、行政ではどのように対処しているかをお聞きする。

③商工会議所、商工会、社会福祉事務所、国際交流協会などを訪ね、地域社会はどのように取り組んでいるかをお聞きする。

④近くの大学、短期大学、専門学校で、そのことを専攻している先生をお尋ねし、最先端の研究では、どのようになっているかをお聞きする。

○どれも、大いに、おすすめです。

(3) 仕事でそのことを行っている施設の訪問もおすすめです。

①介護について興味を持ったら、特別養護老人ホームの施設長、

②医療に興味を持ったら、急性期の病院の病院長、

③異常気象に興味を持ったら、天文台の台長先生をご訪問。

○理由をはっきり述べて、訪問することを、おすすめします。学校の「探究型学習」のために、調査に来ましたと礼を尽くしてお願いすれば、必ず、しかるべき人が、皆様をお迎えしてくれます。



Q 7 : 何を調べたらよいのですか。

A : すべての問題には、「調べなければならないこと」がたくさんあると思います。調べることを、よく整理しましょう。これを「論点整理」といいます。「論点整理」をして、要領よく調べましょう。



Q 8 : 発表はどのようにしたらよいのですか。

- A : (1) たくさん調べても、発表時間は、ふつう 7～8 分、長くても 10～15 分です。何を訴えたいか、大切なことを、5～10 枚のパワーポイントに、聞く人が、わかりやすくまとめましょう。
- (2) 発表の前には、パワーポイントの内容は、全部、暗記。スラスラ言えるようになるまで音読練習。
- (3) できれば、パワーポイントに目をやるのは、時々にし、聞く人の方を見て、ゆっくり、わかりやすく、発表してください。

Q 9 : 最後に一言どうぞ。

- A : (1) この「探究型学習」は、上級学校で、とても役に立ちます。大学でも、大学院でもとても役に立ちます。
- (2) 小学校、中学校、高校で、「辞書・新聞・読書・図書館」に親しんでおくと、大学での「探究型学習」「アクティブ・ラーニング」を行うとき、すっと入れます。
- (3) 大学での調べ学習は、大学図書館を中心に行いますので、小学校・中学校・高校で図書館に慣れ親しんでいると、大学図書館を使いこなすことができます。
- 図書館に慣れていないと、大学での教育や研究が、とてもうまくいきません。
- ご挑戦ください！

